

めぐみイエス・キリスト教会

2024年5月19日(日)第三主日ペンテコステ礼拝
午前10時より
週報「通算第707号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌251「主イエスの御側に」 p. 388
- 【交読文】 No.42 詩篇第130篇 p. 912
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」p. 690
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【前回説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「今も愛します主イエスを」
- 【聖書朗読】 使徒の働き1章4節～8節(新約p. 232)
- 【礼拝説教】 《聖霊のバプテスマ》
- 【聖餐式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(使徒の働き1章4節～8節)

1:4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

1:6 そこで使徒たちは、一緒に集まった時、イエスに尋ねた。「主よ。イスラエルのために国を再興して下さるのは、この時なのですか。」

1:7 イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって定めておられることです。

1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

●ポイント1.「父の約束」とは？

※ヨハネの福音書14章16節～17節「最後の晩餐にて」 (新約p.214)

14:16「そして私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与え下さり、その助け主がいつまでも、あなたがたと共にいるようにして下さいます。

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたと共におられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。」

●ポイント2.「ペンテコステの出来事」とは？

※使徒の働き2章1節～4節「五旬節の日に」 (新約p.233)

2:1 五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。

2:2 すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。

2:3 また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上に留まった。

2:4 すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろな言葉で話し始めた。

●ポイント3.「聖霊のバプテスマ」とは？

※使徒の働き13章52節「パウロとバルナバ」 (新約p.262)

13:52 弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

※エペソ人への手紙5章18節「使徒パウロの勧め」 (新約p.390)

5:18 また、ぶどう酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。

◎先週の礼拝メッセージ【すべてを捨てて】

《主は言われます。「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」シモンは答えます。「先生。私たちは夜通し働きましたが、何一つ捕れませんでした。でも、お言葉ですので、網を下ろしてみましよう。」

ここではシモンは、「先生」と呼んでいます。そして、そのとおりにすると、おびただしい数の魚が入り、網が破れそうになったのです。

そこで別の舟にいたヤコブとヨセフに助けを求め、彼らがやって来て、魚を二艘の舟に引き上げた所、両方とも沈みそうになりました。

これを見たシモンは驚き、主イエスの足もとにひれ伏します。「主よ、私から離れて下さい。私は罪深い人間ですから。」

魚が捕れる前は、シモンは、「先生」と呼んでいましたが、ここでは、「主」になっています。この瞬間、シモンは聖霊によって罪が示され、悔い改めたのです。主イエスが、十二使徒のリーダーを、シモンと決められたのは、この時ではないでしょうか。イザヤは、こう言います。

『私は、高く聖なる所に住み、砕かれた人、へりくだった人と共に住む。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かす為である。』と。また、シモン自身も自らの経験から、『神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる。』と言っています。

へりくだることが大切なのです。さて、主イエスは彼に言われます。「恐れることはない。今から後、あなたは人間を捕るようになる。」と。

ここから、十二弟子としての、真の働きがスタートします。そして、彼らは舟を陸に着けると、すべてを捨てて主に従ったのです。

主は弟子たちに言われます。『「人の子がその栄光の座に着く時、私に従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。また、私の名の為に、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者は皆、その百倍を受け、また永遠の命を受け継ぎます。」』と。主は、彼らに報いを用意されておられるのです。》

お知らせ

※次回は5月26日(日)は午前10時から、通常通りに行ないます。